

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	078	計画の着実な推進に向けたPDCAサイクルの充実				
総合計画	基本目標	総合計画の実現に向けて（行財政運営）			主担当部課名	政策総務部 政策課
	基本施策	02	経営的な視点に立った市政運営			
めざす姿	行政評価制度を中心としたPDCAサイクルの充実を図ることで効率的・効果的な行政運営が行われるとともに、計画の進捗状況が積極的に情報発信され、総合計画の進行管理に市民が関わっています。これらのことから、市民ニーズを捉えた上で総合計画で掲げた各施策が着実に実施され、その成果が広く市民に行き渡っています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	13,479,000	3,737,000	16,385,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	13,479,000	3,737,000	16,385,000			
予算現額	13,479,000	3,737,000	0			
決算額	12,914,353	3,348,459	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	12,914,353	3,348,459	0			
執行率	95.8	89.6	0.0			
(人件費)						
職員数	6.67	5.72	0.00			
職員人件費	51,210,827	44,941,610	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	565,774	315,516	0			
総コスト	64,690,954	48,605,585	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績	実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
基本計画で掲げた各施策の進捗率	73.8	実績	70.7	-	-	-	95
	%	達成率	74.4	0.0	0.0	0.0	
基本計画で掲げた”主要な事務事業”の実施率	81.1	実績	84.8	-	-	-	95
	%	達成率	89.3	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

第6次府中市総合計画後期基本計画に掲げた各施策（本施策を除く。）の進捗状況として、82施策のうち58施策が順調に進捗している。また、主要な事務事業の進捗状況として、178事務事業のうち、151事務事業が順調に進捗している。令和3年度までに目標を達成することができるよう、遅れが生じている事業について、進捗状況を正確に把握し、対応していく。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	▼基本計画で掲げた“主要な事務事業の実施率”について、全体として順調に推移している。			
達成できていない点	▼一部の施策において、遅れが生じ、目標達成することが難しい状況となっている施策や事務事業があるため、進捗状況を把握し、軌道修正していく必要がある。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>▼平成20年度に第5次府中市総合計画後期基本計画に合わせて行政評価システムを導入して、施策評価を開始、平成25年度に第6次府中市総合計画前期基本計画に合わせて行政評価システムを改修し、総合計画の進捗状況に係る評価やPDCAサイクルの流れを明確化した事務事業評価の結果を、政策会議や予算編成に反映するための基礎を構築してきた。</p> <p>▼政策会議について、平成25年度からは当該会議で「市政運営及び予算編成に関する基本方針」を策定することで、各部における翌年度の施策展開や予算要求の構想に統一的な視点を導入することが可能となった。さらに同方針の公表は、政策決定過程で市の方向性を対外的に示す機会となった。</p> <p>▼第6次府中市総合計画前期基本計画の着実な推進を図るため、各施策に対する市民の重要度・満足度評価を把握する市民意識調査の実施・公表のほか、重点プロジェクト対象事業の評価・公表に取り組んだ。</p> <p>また、平成30年度に実施した平成31年度予算編成において、重点プロジェクト、主要な事務事業、その他事業といった優先度別階層に即したシーリング率の設定を行った。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>▼平成27年度以降については、行政評価制度において各施策や主要な事務事業の進捗状況を把握することが可能となることから、同制度との連動を強化する観点から、これらの進捗状況を政策会議での政策的判断に活用することが必要となる。</p> <p>▼今後も、第6次府中市総合計画後期基本計画における施策の進捗状況等の把握に取り組むとともに、予算編成においては優先度別階層に即したシーリング率を設定するなど、計画の進捗状況を政策決定・予算編成過程に連携・連動させることが必要となる。</p>
今後の展開
<p>▼市民意識調査や施策評価・事務事業評価を引き続き実施するとともに、第6次府中市総合計画後期基本計画に掲げた重点プロジェクト対象事業の綿密な進行管理を行っていく。</p> <p>▼事務事業点検を水平展開するため、この経験で得られた見直しの視点等を、新たに行政マネジメントサイクル及び行財政改革の取組に取り込んでいく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 総合計画推進事業	30		858,000	783,641	1,569,000	第6次府中市総合計画の進行管理を的確に行い、計画に基づいて各種の施策や事業等を着実に推進す	B	1
2 企画調査事業	30		2,212,000	2,041,813	14,399,000	施策及び事務事業を円滑に推進するため、庁内での全体的な調整及び新たな行政課題への対応を行	B	1
3 総合戦略推進事業	10		667,000	523,005	417,000	府中市人口ビジョン、府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理を推進する。	B	1
4 政策推進事業	30	○	0	0	0	PDCAサイクルの中心となる行政評価制度を活用し、各種意思決定機関での審議を経て政策決定を	B	1
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			3,737,000	3,348,459	16,385,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	079	長期的視点に立った公共資産の維持・活用				
総合計画	基本目標	総合計画の実現に向けて（行財政運営）			主担当部課名	行政管理部 建築施設課
	基本施策	02	経営的な視点に立った市政運営			
めざす姿	本市が保有する公共資産を効率的に維持管理するだけでなく、経営資源として捉えて積極的に活用するとともに、費用と公共サービスの最適化に向けた見直しが行われることにより、限られた経費の中で、最大限の市民サービスを提供できる仕組みが整っています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	3,780,072,000	4,023,886,000	1,948,249,000			
国庫支出金	224,740,000	169,633,000	277,400,000			
都支出金	166,925,000	182,853,000	194,013,000			
市債	1,187,400,000	1,274,900,000	202,600,000			
その他	1,038,583,000	1,065,612,000	277,841,000			
一般財源	1,162,424,000	1,330,888,000	996,395,000			
予算現額	2,465,628,000	3,778,039,000	0			
決算額	2,399,788,846	3,700,587,967	0			
国庫支出金	292,209,294	124,775,000	0			
都支出金	96,697,000	106,248,000	0			
市債	343,400,000	1,036,200,000	0			
その他	759,780,844	1,105,672,043	0			
一般財源	907,701,708	1,327,692,924	0			
執行率	97.3	97.9	0.0			
(人件費)						
職員数	40.00	42.46	0.00			
職員人件費	307,264,960	333,668,047	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	45,434,825	24,995,795	0			
総コスト	2,752,488,631	4,059,251,809	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
公共施設の市民1人当たりの延床面積	2.51 m ² /人	実績	2.53	-	-	-	2.51
		達成率	99.2	-	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

--

4 施策の進ちよく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちよく状況	目標達成に向け順調に進ちよくしている			
達成できている点	<ul style="list-style-type: none"> モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」の検討協議会による検討 新庁舎建設に係る埋蔵文化財発掘調査 新庁舎建設工事の発注に係る基本的方針の策定 府中グリーンプラザ敷地活用事業に係る各種契約の締結 			
達成できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 新庁舎敷地拡張部の整備 			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>【公共施設マネジメント事業】平成29年度に策定した「第2次府中市公共施設マネジメント推進プラン」に基づき、モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」について検討協議会による検討を行ったほか、モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」について令和元年度からの試行的な実施に向けた調整等を行うなど、最適化と計画的保全の取組を着実に推進している。</p> <p>（公有財産活用推進事業）府中グリーンプラザ敷地活用事業について、前年度に締結した基本協定を基に、引き続き敷地活用事業者と調整を行い、事業用定期借地権設定契約、既存施設の譲渡契約及び解体協定など、必要な契約等を締結した。</p> <p>【新庁舎建設事業】平成23年度に策定した府中市庁舎建設基本構想、平成24年度に示した府中市庁舎整備比較検討結果に基づき、公募市民等による市民検討協議会及び職員検討会での協議、専門委員との検討を経て、平成26年度に庁舎建設基本計画を策定した。平成27年度に公募型プロポーザル方式により、新庁舎建設の基本・実施設計を行う設計者を選定し、平成28年10月に基本設計を完了、平成30年3月に実施設計を完了した。平成30年度には新庁舎建設工事の発注に係る基本的方針として、各種工事を一括して発注する方針を定めた。</p> <p>【庁舎等維持管理事業】本庁舎、府中駅北第2庁舎等を適正に維持しながらコスト縮減に取り組んだ。</p> <p>【公有財産維持管理事業】普通財産を適正に維持・管理するとともに、旧ふれあい会館の解体工事や旧給食センターの解体工事に向けた実施設計に着手した。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>【公共施設マネジメント事業】今後、公共施設マネジメントの取組を着実に推進していくためには、様々な視点による検証を踏まえ、適切な施設総量や対応可能な更新費用の考え方を整理し、他自治体との比較や効果の明確化ができる目標値の設定について検討する必要がある。</p> <p>（公有財産活用推進事業）利活用が見込まれる土地の活用策を決定していく必要がある。</p> <p>【新庁舎建設事業】新庁舎の着工に向け、引き続き敷地の整備を行うとともに、施工者選定など、必要な準備を進めていく。</p> <p>【庁舎等維持管理事業】適正な現庁舎維持管理、新庁舎建設等総合的な判断からコスト縮減に努め、維持管理を図る。</p> <p>【公有財産維持管理事業】未利用地の更なる活用の推進を図る。</p>
今後の展開
<p>【公共施設マネジメント事業】モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」については、検討協議会による検討結果を受けて、令和元年度に基本方針を策定する。モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」については、令和元年度から令和4年度までを試行的実施期間とし、効果の検証等を行いながら、対象施設や対象業務の拡大を目指す。また、目標値の設定についても検討を進める。</p> <p>（公有財産活用推進事業）未利用地の活用や、今後新たに生み出される公共施設跡地の活用の推進を図る。</p> <p>【新庁舎建設事業】令和元年5月に定めた「新庁舎建設に伴う移転に係る基本方針」で設定した全体工程に基づき、着実に事業を遂行できるよう着工に向けた準備等を進めていく。</p> <p>【庁舎等維持管理事業】経年劣化により、庁舎の修繕必要箇所が増加が考えられるが、新庁舎建設等総合的な判断からコスト縮減に努めながら、現庁舎の維持管理を図る。</p> <p>【公有財産維持管理事業】未利用地を時間貸駐車場として運営事業者へ賃借するなどの一時的な活用を推進し、税外収入の増加を目指す。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の前算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 公共施設マネジメント事業	30		7,325,000	9,991,579	109,000	公共施設における老朽化等の課題を踏まえ、総合的かつ長期的な視点から、公共施設の最適化と計画	B	1
2 新庁舎建設事業	30		109,382,000	123,562,142	9,448,000	新庁舎建設等の検討	B	1
3 庁舎等維持管理事業	20		614,910,000	588,285,477	567,140,000	庁舎・公用車等の公用財産の管理並びに普通財産の管理及び活用	B	1
4 検査事務	10		203,000	145,108	191,000	市が締結する工事等の請負契約、物品の買入等の契約をした場合の契約の適正な履行の確認	B	1
5 公共用地取得事業	20		2,818,352,000	2,561,842,061	1,345,699,000	公共用地取得事業	B	1
6 公有財産維持管理事業	30		473,714,000	416,761,600	25,662,000	普通財産の管理及び活用	B	1
7 公共建築物等整備事業	20	○	0	0	0	公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、府中市公有財産規則第4条第2項の規定による「工事施行	B	1
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			4,023,886,000	3,700,587,967	1,948,249,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	080	市民ニーズや行政課題に的確に対応できる人材の育成				
総合計画	基本目標	総合計画の実現に向けて（行財政運営）			担当当部課名	政策総務部 職員課
	基本施策	02	経営的な視点に立った市政運営			
めざす姿	優れた人材を採用し、適材適所に配置するとともに、人材を育成するための諸制度が充実することにより、職員が誇りと働きがいを持ち、市民から愛される市職員となっています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	111,251,000	123,881,000	130,313,000			
国庫支出金	35,000	33,000	33,000			
都支出金	92,000	33,000	33,000			
市債	0	0	0			
その他	4,000	4,000	4,000			
一般財源	111,120,000	123,811,000	130,243,000			
予算現額	119,479,000	123,853,000	0			
決算額	113,279,106	113,864,446	0			
国庫支出金	33,000	22,000	0			
都支出金	73,800	22,000	0			
市債	0	0	0			
その他	4,000	0	0			
一般財源	113,168,306	113,820,446	0			
執行率	94.8	91.9	0.0			
(人件費)						
職員数	16.46	16.26	0.00			
職員人件費	126,451,349	127,735,826	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	1,259,087	1,589,605	0			
総コスト	240,989,542	243,189,877	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
職員の応対等に満足している市民の割合	83.2	実績	85.5	-	-	-	90
	%	達成率	95.0	0.0	0.0	0.0	
採用された職員提案数	13	実績	24	-	-	-	25
	件	達成率	96.0	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

【職員提案】「採用された職員提案数」は昨年度よりも増加している。目標値達成のため、引き続き提案件数の増加につながる見直しを検討していく。

【人事・研修事務】市民満足度は上昇しているが、目標値達成のため、引き続き待遇対応に関する研修を実施するなど、待遇意識の向上を図っていく必要がある。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点				
達成できていない点	<p>▼「採用された職員提案数」は、昨年度に比べて増加したが、目標値には達していない。</p> <p>▼「職員の応対等に満足している市民の割合」は、昨年度より上昇したが、目標値には達していない。</p>			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>【職員提案】 昭和40年に始めた事業であり、等級について平成14年度まで特1級及び1級から5級の等級としていたが、平成15年度に6級を創設し、平成22年度に特別級を創設した。また、平成26年度には、制度の抜本的な見直しを行い、提案の種類を「じっくり提案」、「ひらめき提案」、「業務改善グランプリ」に分類して、種類ごとに審査方法や等級を設定した。</p> <p>【人事・研修事務】 平成25年度から、これまでC I連絡会が実施していた市民アンケートを、新任職員研修の一環として、ヒアリング形式に変更して職員課で実施している。市民満足度を90%まで上げる目標を掲げているが、平成26年度までは低下傾向にあった。そこで、平成27年度は窓口対応が多い所属に対し、接遇対応職場内集合研修を実施し、接遇の大切さ等についての認識を深めた。その結果、平成26年度より12.8ポイント増加し、過去最高水準になった。平成28年度、29年度においても引き続き接遇対応職場内集合研修を実施し、全所属に対して実施することができた。また、平成29年度から、職員が自発的に接遇意識を高める仕組みとして、職員一人ひとりが日頃の接遇を振り返るための「接遇対応チェックシート」を活用し、職員の接遇意識向上に努めた。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>【職員提案】 指標としている「採用された職員提案数」は昨年度に比べ増加した。提案数が増加するよう引き続き職員への周知を図っていく必要がある。</p> <p>【人事・研修事務】 市民満足度が、平成28年度、29年度は若干減少したが、平成30年度は上昇に転じた。しかしながら、目標値には達していないことから、引き続き職員の接遇意識の向上を図る必要がある。</p>
今後の展開
<p>【職員提案】 職員の改善提案により行政運営の効率化と市民サービスの向上を図るための制度とするため、引き続き見直しを進めていく。</p> <p>【人事・研修事務】 接遇リーダー研修を実施し、受講者が研修修了後に各職場で接遇研修を行うことにより、全庁的に接遇意識の向上を図る。また、接遇対応チェックシートについて、1回目のチェック終了後に、各課において重点取組項目を設定してもらい、2回目のチェックに向けた改善の意識付けを行っていく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	令和 3年度
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
0				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 職員福利厚生事務	10		36,614,000	34,290,245	37,094,000	職員の健康管理のための産業医による健康相談、各種検診及び被服貸与等	B	1
2 人事・研修事務	10		87,222,000	79,531,908	93,175,000	職員の人事及び研修に関する事務	B	1
3 府中の魅力発信運動推進事業	30		45,000	42,293	44,000	職員一人ひとりが、自発的に府中の魅力を再発見し、それを市の内外に発信して「府中のイメージア	B	1
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			123,881,000	113,864,446	130,313,000			